

2009年5月29日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

子ども未来セミナーⅡ

幼稚園教育要領の改訂ならびに保育所保育指針の改定に伴い

「よりよい幼保小の連携を考える」セミナー開催

中部学院大学 子ども学部・同短期大学部 幼児教育学科では、よりよい幼稚園・保育園・小学校の連携を模索する「子ども未来セミナーⅡ」を開催します。

昨年、幼稚園教育要領の改訂ならびに保育所保育指針の改定が行われ、幼稚園・保育園、小学校との連携が強調されています。しかし、実際の場合では、保育者は何をしていけばよいのか、何を足がかりに考えていけばよいのか、その方向性を模索しているのが現状です。今回の研修では、保育研究の広がりと深まりを目指した活動に取り組んでいる吉村真理子先生（元松山東雲短期大学教授）を講師にお招きして、今年度末に小学校に送付する幼稚園幼児指導要録や保育所児童保育要録の記載内容に焦点をあてて考えます。講演に先立ち、パネルディスカッションを行い、理解を深めます。

記

- 日 時 2009年6月13日（土） 午後1時20分～同5時
- 場 所 中部学院大学 各務原キャンパス 大講義室
(岐阜県各務原市那加甥田町 30-1 058-375-3600)
- 参加者 岐阜県内の幼稚園・保育園・小学校などの関係者、教育者 300人
(応募多数につき、募集は締め切りました)
- テーマ 「幼稚園幼児指導要録・保育所児童保育要録には何を記載すべきか」
ー幼稚園教育要領改訂・保育所保育指針改定を受けてー
- 主 催 中部学院大学
中部学院大学短期大学部
中部学院大学子ども家庭支援センター

■ 内 容 13:20 開 会

13:30 パネルディスカッション

「よりよい幼保小の連携を考える」

ー幼稚園幼児指導要録・保育所児童保育要録の記載内容を中心にー

【コーディネーター】 西垣 吉之 本学子ども学科 教授

【パネラー】 井納 利子 本学幼児教育学科 教授

(元幼稚園長・保育園長の立場から)

【パネラー】 加納 誠司 本学子ども学科 講師

(元小学校教員・幼保小連携研究者の立場から)

【パネラー】 宮脇 恭顯 本学教授・各務原シティカレッジ 副校長

(元小学校校長の立場から)

15:30 講 演

幼稚園幼児指導要録・保育所児童保育要録には何を記載すべきか

ー幼稚園教育要領改訂・保育所保育指針改定を受けてー

【講 師】 吉村 真理子 元松山東雲短期大学教授

16:55 閉 会

【講師プロフィール】 吉村 真理子(よしむら まりこ)

1927年愛媛県松山市生まれ。東京都の桜美林学園中・高等部在職中に幼児教育に興味を持ち、保母試験を受け都立町田保育園に就職する。保育のおもしろさに引き込まれ、乳幼児の発達と保育についての実践的研究を続ける。園長時代には、東京都立高等保育学院の夜間部の非常勤講師を兼任。1979年に町田保育園を退職。それまでの保育園の生活記録をまとめて出版する。「0～2才児の保育手帳」「3才児の保育手帳」「4、5才児の保育手帳」(あゆみ出版)「保育実践の創造」(さらさら書房)。1981年から、母校である松山東雲学園からの誘いで保育者養成に携わる。その間短期大学付属幼稚園の園長を兼務。1994年に退職後は、同校で非常勤講師を勤めるとともに、現在は、フリーの立場で、保育現場での研究活動の支援を行い、保育研究の広がりや深まりを目指した活動に取り組んでいる。著書としては「保育講座 保育内容総論」「保育講座 乳児保育」(ミネルヴァ)「ぞう組さんあつまれ」(ミネルヴァ)「絵本の匂い、保育の味」(小学館)など多数。

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 総合研究センター (担当: 西堀) TEL:0575-24-2238 (関キャンパス)